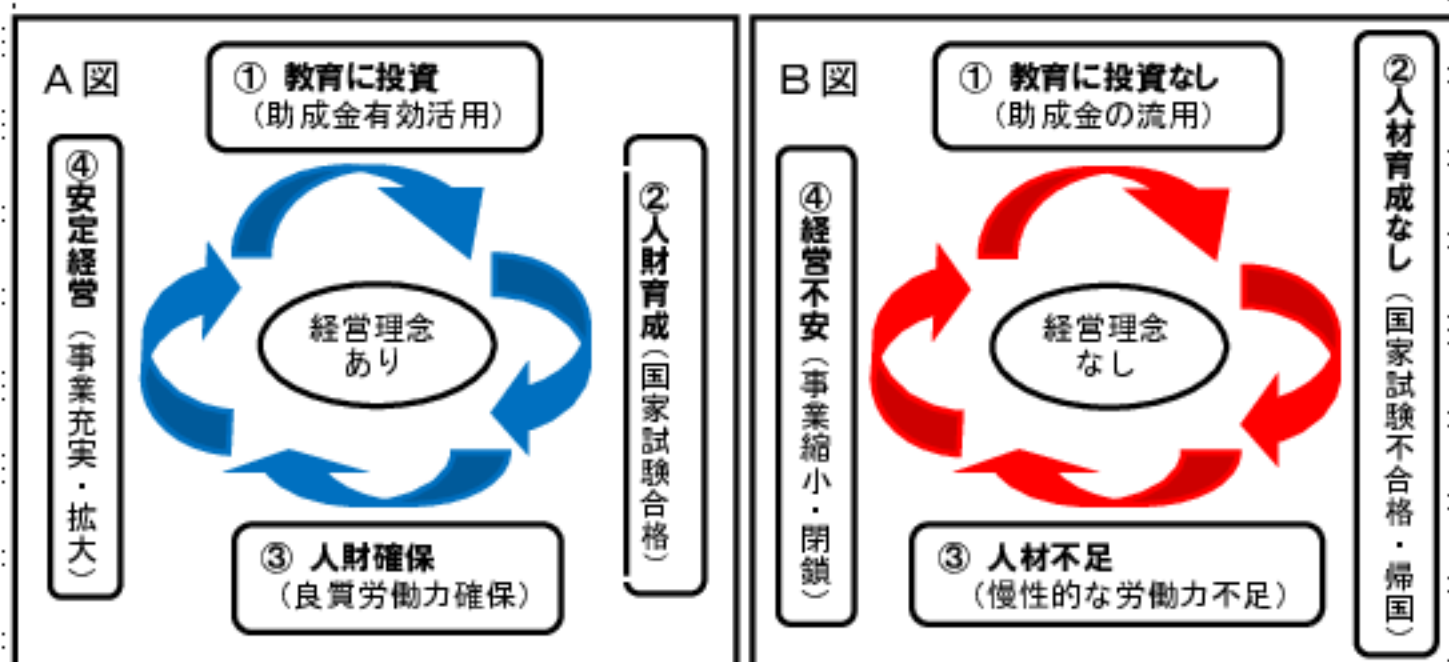


「人材」育成を、「人財」育成に変換！！

人員の使いまわし、使い捨ての考えは経営困難の原因となる

- ★【月報】の反響を分析すると、次のように大きく二分できる。一つは「学習対応や指導」についてのもの。二つ目は、経営者の「労働力確保に対する悩み」の声に分かれる。
- ★この対応策の一貫として、経営者にアドバイスする内容は、EPA受け入れを「単なる人材確保」として捉えるのではなく、「人財育成として、経営を安定化させること」をお話している。これに対し、多くの経営者は賛同を示し、具体的な行動を起こす人が多くいる。
- ★一方でEPAを利用して、「当面の労働力が確保できれば良い」と、単純に考えている経営者も多くいる。これらの考えに基づいて、3年後は不合格になって帰国しても、「いずれは帰国する人間だから、それで良い」という単純な経営視点で行っている人が、未だに多くいる。
- ★EPA制度自体の目的は、【質の高い労働力確保と、国際交流の促進】だ。そのために税金である教育助成金を使って多大な支出を国家は行っていることを、再認識する必要がある。

I、【経営視点の比較相違点】



I、【「人材育成」とは？】

- 「労働者を雇用者の大切な財産として位置づける」こと。さらに、単なる労働者としてではなく、「新たなものを生み出せる付加価値のある労働者」に育てていく人材育成という経営視点だ。
- よって、人材育成に助成金制度を活用すべきだ。即ち、助成金の範囲内で専門家に任せた労働者教育を正しく行えば、長期間在日させて、経営の安定を図れる最も良い方法なのだから。

II、【なぜ、人材育成は合格率が高くなるのか？】

- 受験者は、経営者の経営視点を本能的に見分けて、その職場で末永く働いても安心か否かを、実直に見極めている。その結果、「自分が必要で、大切な人間だ」という評価を感じれば、必然的に国家試験合格に対して、合格意欲が高まるからだ。
- また、職場環境から「言われなくても、やれる人間」としての自覚が高まるために「自学能力」が高まり、自ずとその能力で合格率を高めることができる。この良い循環を維持するのは、経営者次第だ。

I、【「人材育成」とは？】

- 「労働者を単なる一つの材料として捉える」経営視点のことだ。労働者の能力の創造力を否定し、業務命令の範囲内だけで、また簡単な実務の範囲内の業務を行うことを要求すること。
- 労働者の持つ創造力を否定した対応をとることは、「経営視点の範囲内」に留まる。その結果、新たな事業改善、並びに、事業拡大に対する人的能力が、組織として発揮できなくなる。

II、【なぜ、人材育成は合格率が低いのか？】

- 受験者の位置づけが、労働力不足のための補充員だけとして、職場環境の中で感じたら、給料だけをもらって、期間が満了になれば帰国するという、「出稼ぎ意識」が当然、沸き起こるからだ。
- 即ち、業務は責任のない雑用程度しかさせずに、また、学習環境は専門・日本語学校に入れて、内容が理解できない状態が続く。その結果、合格を望めない状況が、職場環境で作られて出されている。これを変えられるのは、経営者の考え次第だ。

【「安定した人財確保のポイント」10箇条】

II、【人財確保の必要条件】

- 1条: 「10年計画」を作り、【人財確保計画】を確立すること。
- 2条: 【人財確保計画】の中で、「EPA受け入れ事業の位置づけ」を明確にすること。
- 3条: 10年後の社会情勢を考慮した上で、【人財確保計画】を持つことが、重要な経営の基本指針だと認識すること。
- 4条: EPA人員は継続的に受け入れなければ、必ず人財不足となることを認識すること。(下表参照)
- 5条: 人員確保の安定は、国籍にこだわらず「多国籍受け入れ」をすることが重要だと認識すること。
- 6条: 「入職年の教育方針」が、人財育成上の全てを決定することを認識すること。
- 7条: 言語能力育成教育は「三年計画」に基づき、指導は専門家に業務委託し、教育成果を「数値で定期的に報告させる」こと。
- 8条: 受け入れ機関は、受験者に就業規則を徹底させて、現場の実務指導、並びに、生活指導に特化すること。
- 9条: 「日本人の価値観、並びに、日本事情を学ばせる」こと。
- 10条: 「結果が全ての経営視点」を保持し、教育の成果を客観的に判断できる数値で厳しく判断すること。

【条文の内容解説】

- ※「10年計画」とは、10年後の将来像を描き、その将来像に必要な【人財確保計画】のこと。
- ※【人財】とは、経営者にとって、能力を十二分に発揮して、付加価値のある業務ができる人で、組織の貴重な存在となる人のこと。
- ※【人財確保計画】とは、優秀な職員を確保する計画のこと。但し、入職後の「教育の目標・目的」が、確立されておく必要がある。
- ※「多国籍受け入れ」とは、複数の国から異文化社会の人々を、平等に受け入れること。
- ベトナム人の場合は、9月入職でフィリピン人などの場合には、12月となる。この場合、翌年の3月までの期間は、年度途中で、「教育助成金」の支給額は満額ではない。
 - その結果、この期間内の教育目的が不明確となり、国家試験受験能力を養う上で、大きな障害期間となっているのが現状だ。
 - 「入職年の教育方針」とは、上記の期間を含み、国家試験受験日までの教育方針のこと。即ち、入職時から受験日までの「一貫した教育方針」を示したもののこと。
- ※「三年計画」とは、看護・介護ともに「三年間で国家資格を得ること」を目的とした教育計画のこと。さらに、教育内容を具体的に示し、教育効果が上がる内容のもの。
- ※「数値で定期的に報告させる」とは、受験者の言語能力、並びに、専門知識の理解度を数値化した客観的に誰でも判断できる報告内容のこと。

III、【合格率50%と、80%の場合の人員確保推移数】

年数 回数	1年 一年目	2年 二年目	3年 三年目	4年 足切年目	5年	6年	7年	8年	人員 確保数
一回目	2名 (入職者数)								
二回目		2名							
三回目			2名						
四回目				2名					
五回目					2名				
受け入れ合計	2	4	6	6	6	6	6	6	
50% 合格計				1	1.5	1.5	1.5	1.5	
累計				7	7.5	7.5	7.5	7.5	7人
80% 合格計				1.6	2.4	2.4	2.4	2.4	
累計				7.6	8.4	8.4	8.4	8.4	11.2人

- ★ 上表は、EPA受験者を毎回2名ずつ受け入れた場合で、在日年数を四年間とした結果数を表している。
- ★ 四年目の滞在者は「国家試験不合格者で、延長（足切組）」の1名合格した場合を表している。(現役合格なしで、「足切年」に合格した場合)
- 上表をさらに拡大し、十年間の数値を読者自身で入れて、十年後の人員確保数を是非、想定してほしい。

- ★ 50%合格の場合は、8年目では約7名の人員を得られる。しかし、合格後の離職率を0とした場合だ。もし、離職者が出た場合には、7名を下回ることになる。
- ★ 80%合格の場合は、8年後には約11名の人員を得られるが、もし、離職者が3名以上でも、50%合格の場合の人員確保数と同じになる。
- ★ 上表からすると、合格率は80%でなければならない。

◎ 到達度試験Aコース(独立型)

ことばの研究社

<自学能力養成型コース>

【一年目 到達度試験 初回レベル～Dレベル】

※ 【自学能力】を養うことを目的としたコースです。
言語能力は、日本人の中学2年生までの能力に達するようにプログラムされています。

※ 【自学能力】を養う教材を使用

主教材 ・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材 ・ひらがな絵かきど (瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と (構文力育成用)

・カタカナノート (説明文・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1 (基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2 (熟語漢字習得育成用)

・手渡し教材随時

【二年目 到達度試験 Eレベル～国試3レベル】

※ 日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。そのため、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文書で解答できる能力が育成できます。

※ 主教材 ・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【三年目 スカイク授業 5回(1回2時間)】

※ 日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

※ 主教材 ・専門参考書

副教材 ・手渡し教材随時

・国家試験過去問題集

【指導内容】

① 職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

② 類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③ 要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書提出し、現場の指導に役立てます。】

※ 【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※ スカイク授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※ 価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ②1,755語の基本漢字が習得できて、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ③会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで、できるようになる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できるようになる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができるようになる。 ④簡単な業務日誌が書けるようになる。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的に行い、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本語力を高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えられるようになる。 ②専門用語の漢字を「類推して読解」できるようになる。 ③自学で「過去問」ができるようになる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①日本語を使った「業務実践力」を行える能力を養う。 ②会議等で意見を発言し、内容把握ができる能力を養う。 ③要約力を養い、会議等で的確なメモをとれる能力を養う。 ④日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できるようになる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して読み理解できるようになる。 ③マークシートの解答ではなく文書による解答ができるようになる。

◎ 到達度試験Bコース(併用型)

< おまかせコース >

【一年目 到達度試験(初回~Dレベル)+スカイプ】

※【自学能力】を養える【到達度試験】と対面教育ができる「スカイプ授業」を併用しています。

日本人の中学2年生までの能力に達するプログラムで、特に、正しい会話力が身につけられるコースです。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.1」

(日本語の規則性と用法育成用)

・「100万人の日本語No.2」

(中文読解と文脈理解育成用)

副教材・ひらがな絵カード(瞬時反応能力育成用)

・ひらがなの一と(構文力育成用)

・カタカナノート(説明・会話文の用法育成用)

・漢字の一と1(基礎漢字と文型理解育成用)

・漢字ノート2(熟語漢字習得育成用)

【二年目 到達度試験(E~国試1レベル)+スカイプ】

※日本人の専門学校生と同等レベルの言語能力に達することを目的としたコースです。

スカイプ授業併用型なので、マークシート方式の国家試験問題の解答能力だけでなく、文章で解答できるようにプログラムしています。

※【自学能力】を養う教材を使用

主教材・「100万人の日本語No.3」

(日本語の運用と活用育成用)

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【三年目 到達度試験(国試2,3レベル)+スカイプ】

※日本人の社会人と同等レベルの言語能力を養い、国家試験合格を目的としたコースです。

日本人の職員と同等に業務ができるまでの能力に達するように、プログラムしています。

また、国家試験合格後でも、同じ職場で働く意欲を養うことも目的としています。

※主教材・専門参考書

副教材・手渡し教材随時・国家試験過去問題集

【指導内容】

①職種に合わせた専門書の理解の仕方指導

②類推力の育成で専門用語(熟語漢字)の対応指導

③要約力を養い実務能力の育成指導

【学習並びに、問題点を客観的に把握するために、以下の報告書を提出し、現場の指導に役立てます。】

※【到達度試験】後は、毎回「考察票」を提出。

※スカイプ授業後は、毎回「授業内容報告書」を提出。

※※価格等の詳細については、メールでお問い合わせ下さい。

各段階の学習目標と、特徴

一年目	★基礎言語能力の育成 ①スカイプ授業を併用するために、対面学習で、適切なプロの指導が受けられる。そのために、確実な日本語力が養える。 ②日本語の「規則性と用法」を理解させて、【自学能力】を養う。 ③1,755語の基本漢字を習得でき、日本人の中学2年生レベルの言語能力を養う。 ④会話力は、生活上に支障が無いレベルで、意思伝達能力は、話し相手と円滑にできる能力を養う。	●日本語能力を養う ①職場での会話力は、日本人の中学2年生レベルまで到達できる。 ②職員の指示を的確に内容把握でき、それに従って行動できる。 ③読解力が身につくため、必要な日本語文の書類を読むことができる。 ④簡単な業務日誌が書ける。 ⑤スカイプ授業は、受験者の表情を教師が読み取れるので、「本当に理解しているか、どうか」が判断でき、確実な言語能力がつく。
二年目	★生活言語能力の育成 ①日本語の「運用力」を身につけ、正確な意思疎通力を養う。 ②仕事を自主的にやり、責任を持って業務を遂行する能力を養う。 ③日本人の高校3年生レベルにし、夜勤業務に就ける能力を養う。 ④日常会話力が支障なく使える能力を養う。	●国家試験受験能力を養う ①専門参考書の「技術編」を読み、文で答えることができる。 ②専門用語の漢字を「類推して読み、意味理解」できる。 ③自学で「過去問」を解ける。 ④スカイプ授業併用型なので、問題・疑問が、その場で解決できる。
三年目	★職域言語能力の育成 ①業務の実践力を養う。 ②会議で意見を発言して内容把握でき、メモをとる能力を養う。 ③話の内容を的確に、まとめる能力を養う。 ④日本人社会人と同等レベルの言語能力を養う。 ⑤スカイプ授業なので日本人感覚の「語感・語調」を、正しくプロの教師が養う。	●国家試験合格能力を養う ①専門参考書の抽象問題領域「法律・日本事情等」が読解できる。 ②日本事情の専門知識を体系的に把握して、読み理解できる。 ③マークシートの解答ではなく、文章による解答ができる。 ④専門語彙と専門知識を自学できる。

【 国家試験受験能力到達度試験の特徴 】 EPA学習支援 こぼの研究社

【国家試験受験能力到達度試験】の特徴は、自学能力を養い、言語技能が並行的に伸び、受験者の対応能力が養えます。 教育効果は介護分野では、国家試験合格者を **3年間連続で、80%以上の実績を誇っています**。 また、看護分野でも、EPA受験者全体の合格率が10%前後に留まっているのに対して、【到達度試験参加者】の合格率は、**55%**と高い水準を保っています。

これは、**受験者全体の合格率10%の5倍の高さ**を示しており、驚異的な合格率といえます。

※ 本試験は、あくまでも、専門領域で社会人として働ける能力を養うことを、重要視した学習方法です。

さらに、受験者が日常の業務の中で、日本人職員とのコミュニケーション能力をも身につけることができるために、介護施設や病院などで実践力のある要員として、育成することを目的としています。

※【到達度試験参加者】には、定期的に試験結果を「考察票」でお送り致します。「考察票」には、指導者用のために、具体的な指導方法を記しておりますので、安心してご指導頂けます。

レベル	合格基準	特徴	技能の種類	合格
3段階	75 % 専門学校卒の 言語能力	※ 国家試験に対する合格力と知識力を養う ◎ 国試問題に対する「文脈読解」と「要約力」 に対応できる学習をさせる。	★ 5 技能 ・ 瞬時反応 ・ 文脈読解力 ・ 要約力など	職業言語能力を養う
2段階	90 % 専門学校 2 年 の言語能力	※ 専門知識の活用力を養う ◎ 国試過去問を使った「漢字専門用語」（漢字 熟語）と「文脈読解力」に対応できる学習を させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応 ・ 漢字熟語力 ・ 文脈読解など	
1段階	90 % 専門学校 1 年 の言語能力	※ 専門知識の運用力を養う ◎ 国試過去問を中心とした問題で「読解力」 （語彙力・文意力）に対応できる学習をさせる。	★ 3 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	
F段階	85 % 高校 3 年の 言語能力	※ 専門領域の基礎力を養う ◎ 介護・看護の基礎知識を基に具体的な事例で 学習させる。	★ 4 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文意読解など	生活言語能力を養う
E段階	80 % 高校 1 年の 言語能力	※ 日本語の「規則性と用法と運用力」を養う ◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 運用力が身につく学習をさせる。	★ 9 技能 ・ 文読解力 ・ 図読解力など	
D段階	75 % 中学校 2 年の 言語能力	◎ 日本語の用法を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 対応力 ・ 要約力など	
C段階	70 % 小学校 6 年の 言語能力	◎ 日本語の規則性を基に、学習目的にそった 自学力が身につく学習をさせる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文脈力 など	基礎言語能力を養う
B段階 N2レベル	70% 小学校 4 年の 言語能力	※ 日本語の基礎知識を養う ◎ 日本語を表現するために必要な「基礎的な 知識とその使い分け」ができる能力を中心 として学習させる。	★ 11 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 読解力など	
A段階 N3レベル	75 % 小学校 3 年の 言語能力	・ 構文力・読解力・文字（ひらがな・カタカナ・ 漢字）・助詞・接続詞の使い分けなど。	★ 13 技能 ・ 瞬時反応力 ・ 文字認知力 ・ 読解力など	
初回		受験者の現状の日本語能力を観る。		

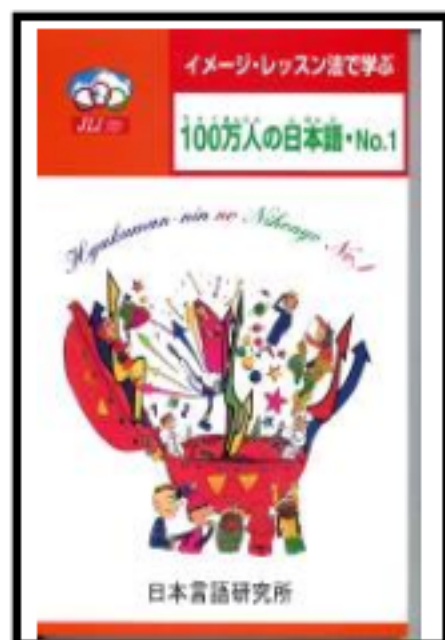
自学能力を養うための 適切な教材！！

- ① 視覚的に学べる ② 日本語の「規則性と用法」が学べる
③ 漢字も類推して読める ④ ストーリー性があり、体系的に作られている

EPA学習支援
スカイプ・総研の問い合わせ先
ことばの研究社
電話：086-431-3481
FAX：086-431-3482
岡山県倉敷市庄新町 8-4-12

学習支援 主教材

基礎言語能力レベル

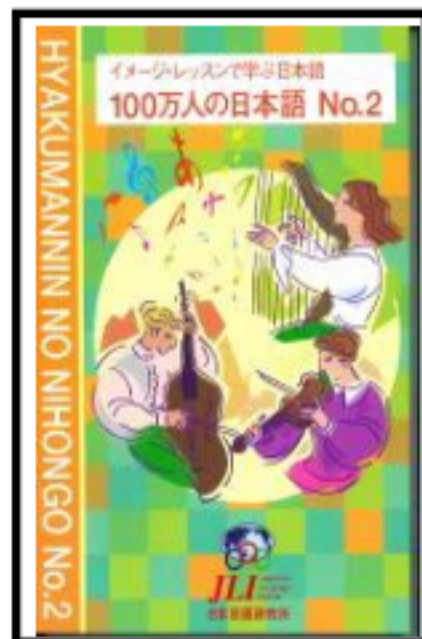


【テキスト「100万人の日本語 No.1」】

ひらがな・基本漢字の習得とともに、全ての言語活動の基本となる概念を形成し、名詞文・存在文・普通動詞文を無理なく学習できる構成となっています。(2,805 円)

※ 習得漢字数 310 字～620 字

※ 習得語彙数 520 語～1560 語



【テキスト「100万人の日本語 No.2」】

会社や学校、家庭内などあらゆる場面における会話文を中心に構成され、社会生活に必要な抽象語を理解しながら、性別や立場による言葉の使い分けを習得できます。また、形容詞文学習により心情・語感表現力の基礎を築きつつ、各ページのコーナーで日本語のあらゆる規則性と用法を自学できます。(2,805 円)

※ 習得漢字数 420 字～840 字

※ 習得語彙数 570 語～1,710 語

生活言語能力レベル



【テキスト「100万人の日本語 No.3」】

日本社会に適應できる人間関係を理解して、目上の人に対する礼節を保つ表現力が身につきます。

論理的に文を組み立てた長文が書けると同時に、漢字熟語を使った要約文を書けるようになります。

仕事に関連する語彙を自分で辞書を引きいて調べることができます。(3,300 円)

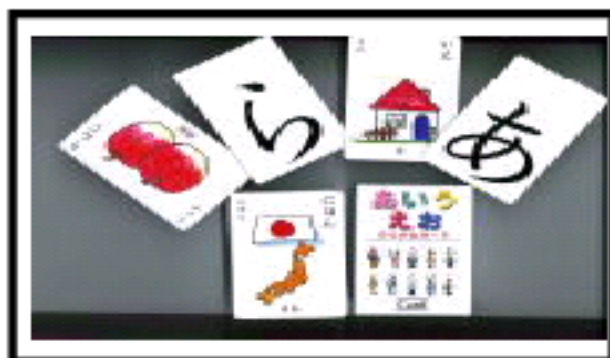
※ 習得漢字数 850 字～1,700 字

※ 習得語彙数 1,110 語～3,330 語

使ってみてビックリ！
教育効果の高さ
学習支援 副教材

基礎言語能力レベル

職員の手が掛からずに、
受験者だけで勉強できる教材



表面にはひらがな文字が一文字ずつ書かれており、裏面にその文字を使った語のイラストが色彩鮮やかに描かれています。

イラスト面には「ひらがな・カタカナ・漢字」の3種類でその言葉が表記されており、学習者が文字を比較しながら自学できるつくりになっています。基礎教育の日本語学習者に最適な内容になっています。

(1,155 円)



ひらがな文字の自学に最適な教材です。字形、書き順などの練習だけでなく、全ての日本語の基礎となる「しつもとこたえ方」に絶対必要な発話方法を、身近な事例を使って学習できるようになっています。社会生活に必要な最低限の語彙も同時に習得し、定着できるように作られています。

(1,980 円)



『100万人の日本語 No.1』に沿った構成となっており、文型・成文の習得をしながら効率的に漢字の読み書きが習得できるようになっています。

非漢字圏の学習者が漢字習得をする上で最適。

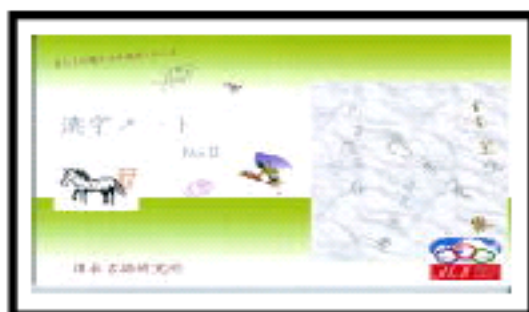
また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)

生活言語能力レベル



カタカナ語彙を使った場面を表すイラストが各ページにあります。このノートは説明文と会話文が織り成されています。この場面を紹介する文は、外来語の理解とその言出し練習をしながら、練習問題によって読解力と文型の応用力を養えるようになっています。

(1,496 円)



『100万人の日本語 No.2』に沿った構成となっており、漢字習得と成文練習のみならず、読解力も同様に養えるように作られています。

漢字の「へん・つくり」の付録もあって、漢字の成り立ちに対する理解ができる内容となっています。

非漢字圏の学習者が漢字を習得する上で最適。

また、中国人学習者にも同様です。(1,496 円)